

第6回 日本語教育学講座研究会 講演会

日時： 2011年1月21日（金）午後6時00分～7時30分

場所： 文系総合館7F・カンファレンスホール

申し込み不要・入場無料

日本語学習・教育にとって重要な語彙とは何か

—大規模コーパスに基づく語彙データベースの作成—

松下達彦

(Victoria University of Wellington 大学院生)

語彙リストは言語の学習・教育にさまざまな点で役に立つ。日本語研究においても、雑誌や新聞の頻度データに基づいて、いくつもの語彙リストが作られてきたが、書籍の大規模コーパスに基づく語彙リストはこれまで作成されてこなかった。本講演では、「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) 2009 年モニター版」(国立国語研究所, 2009) の書籍部分 (約 2800 万語) とインターネット・フォーラム (「Yahoo 知恵袋」) 部分 (約 500 万語)、合計約 3300 万語に基づいて発表者の作成した語彙データベース (VDRJ) について報告する。語彙リストの応用目的、そのための問題点を概観したうえで、VDRJ の作成法、分析結果、応用法について紹介する。具体的には、どのように語を配列することが日本語学習・教育に有用か、語種や品詞の分布、語数・字数とテキストカバー率の関係、それらの領域による違い、従来の語彙リストとの比較などである。時間が許せば、Coxhead (2001) と類似の考え方に基づいて抽出した日本語学術共通語彙リスト (JAWL = Japanese Academic Word List) や語彙テストについて話したい。

◆ 講演会終了後、KOCHAB (名古屋大学より徒歩 10 分程度) <http://www.lian-nagoya.com/shop/index.html#kochab-french> にて食事会 (20:00~, 予算 3600~4000 円) を予定しております。参加を希望される方は、1月12日 (金) までに担当・早川 hayakawa.kyoko@g.mbox.nagoya-u.ac.jp までご連絡ください。